

日頃の訓練の成果を披露 妹背牛消防演習



幼年消防クラブ

ポンプ操法



妹背牛町と深川地区消防組合妹背牛消防団、深川消防署妹背牛支署は7月8日、消防庁舎前や市街地で令和8年度の妹背牛消防演習を実施しました。今年は、幼年消防クラブによるセレモニー「火の用心の歌」と防火の誓いが初めて披露され、会場を訪れた人たちに防火・防災の大切さを伝えました。

規律訓練では、消防団員一人ひとりが息の合った動きを披露。続くポンプ操法では、小型ポンプや消防車両を使用し、ホース延長から放水までの一連の動作を迅速に行い、日頃の訓練で培った消防技術を発揮しました。

出動・放水訓練では、北いぶき農協妹背牛支所での建物火災を想定し、消防車両が現場へ出動。各隊が連携しながら消火活動を展開し、実際の火災を想定した緊張感あふれる訓練が繰り広げられました。

閉会式で中易利則団長は、「いつ起こるか分からない火災に備え、消防団は日頃から訓練を重ねています。地域の皆さんの安全・安心を守るため、今後も消防団活動へのご理解とご協力をお願いします」と呼びかけました。

地域おこし協力隊通信

妹背牛町に在籍する地域おこし協力隊員の活動状況などを紹介します。

ズオン・ティ・フオン さん

私の心の中に残り続ける、温かい町の記憶

昨年のもせうし夏祭りでベトナムの踊りを披露するフオンさん



皆さん、こんにちは。地域おこし協力隊のフオンです。月日が経つのは本当に早いもので、8月31日をもって、地域おこし協力隊としての3年間の任期を終えます。

この町にやってきた最初の日のことを、今でも鮮明に覚えています。周りは初めて見るものばかりで、心細く、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、職場の同僚の皆さんの温かいサポートや、地域の皆さんの優しさに支えられ、少しずつ仕事にも、この小さな町での暮らしにも馴染んでいくことができました。

振り返ってみれば、この3年間は忘れられない大切な思い出であふれています。任期中、「ベトナム文化に触れてみよう」という交流イベントの企画を通じて、母国の伝統料理や文化を地域の皆さんに紹介する機会をいただきました。町のイベントで皆さんと一緒に春巻きを販売し、多くの皆さんに「おいしい」と喜んでいただけた時は、本当にうれしかったです。

しかったです。また、昨年の夏には、ベトナムの技能実習生たちと一緒にダンスを練習し、町の夏祭りのステージで披露したことも、かけがえない最高の思い出です。

この3年間の節目を迎え、私はまた新しい未来に向かって歩み始めます。これからもたくさんの方の新しい土地を訪れ、多くの文化を学んでいくつもりです。ですが、私の心の中には、この妹背牛町で過ごした記憶や景色が大切な思い出としてずっと残り続けると確信しています。かわいらしい妹背牛駅、通勤途中に毎日眺めた風情ある神社、いつもおいしかったお菓子屋さん、そして毎月2回、月曜日におじいちゃんやおばあちゃんたちが温かい笑顔で販売してくれたあのお弁当の味を、私は一生忘れません。

いつか将来、今度は一人の観光客として、大好きな北海道を訪れたいと思っています。その時は、またあの懐かしい列車に揺られて、この温かい小さな町へ帰ってきたいです。きっと、そんな日が来ることを信じています。

最後になりますが、これまで支えてくださった皆様に心から感謝申し上げます。皆様のご健康とご多幸を、これからもずっとお祈りしています。本当にありがとうございました。